



せいふう新聞

急増している「乳がん」「子宮がん」

●若い女性も無関係ではない女性特有のがん

女性特有の体の構造から、女性には「乳がん」や「子宮がん」などのがんがあります。がんの多くは高齢になるほど発症リスクが高まるため、若い女性にはあまり関係がないと思われがちですが、**若年化が進んでおり、20～40歳代発症するケースが増えています。**

乳がんとは、乳房の乳腺組織にできるがんで、日本人女性に最も多いがんです。自覚症状としては、がんが5mm～1cmくらいの大きさになるとしこりとして触れることがあります。しこり以外の症状では乳頭からの異常分泌、乳頭や乳輪のただれなどがあります。子宮がんには、子宮の奥にできる「子宮体がん」と、子宮の入り口である頸部にできる「子宮頸がん」があります。子宮体がんも子宮頸がんも、初期にはほとんど自覚症状はありません。進行してくると、不正出血やおりものの異常、下腹部痛などがみられるようになります。

●女性のがんの原因は？

乳がんや子宮体がんの発生には、女性ホルモン的一种である「エストロゲン」が深くかかわっています。初潮の時期が早い人や、閉経時期の遅い人、出産経験のない人などは、エストロゲンの影響を長期間受けているため、発症リスクが高くなります。子宮頸がんの主な原因は、「ヒトパピローマウイルス（HPV）」というウイルスです。HPVは性交渉によって感染するため、性体験のある女性の約80%が感染すると言われていますが、多くの場合、本人の免疫機能が働いて排除されます。ところが、HPVが排除されず、長期にわたって感染することがあり、このような場合に、数年を経て子宮頸がんを発症すると言われてしています。

●予防・改善するために

危険因子の中には、女性ホルモンの影響など避けようのないものもありますが、**生活習慣に潜む危険因子は減らすことができます。禁煙、バランスの良い食事、適度な飲酒、適度な運動を心がけましょう。**

●こんな検査で分かります

乳がんを調べる検査には、「視診・触診」「乳房X線検査（マンモグラフィー）」などがあります。子宮がんを調べる検査は、医師が子宮を触診して調べる「内診」のほか、子宮体部や子宮頸部の粘膜を綿棒で軽くこすり、採取した細胞を調べる「細胞診」などがあります。

※**乳がんの視触診とマンモグラフィー、子宮頸部細胞診は科学的に有効であるとして厚生労働省が推奨しており、三島市の住民検診として2年に1度、受診することができます。当院でも行っております。**

お気軽にお問い合わせください。

～全国健康保険協会 協会けんぽ ホームページより抜粋～

芹沢病院 「納涼祭」のご案内

日時 7月25日(水) 17:30～19:00
 ※雨天決行です (但し雨天時は屋内開催)
 会場 芹沢病院正面駐車場内 特設会場 (全面禁煙)
 催し物 北上子供しゃぎり・三島サンバ(ノールパピヨン)
 入院・介護の相談窓口 (18:00～19:00)
 屋台 バザー、焼きそば、焼き鳥、唐揚げ、かき氷、
 とうもろこし、ヨーヨー、輪投げ、など

※駐車場には限りがございます。お車でのご来場はご遠慮ください。



職員一同、皆様のご来院を心よりお待ちしております！

夏の交通安全県民運動

7月11日(水)～7月20日(金)

重点

- ◆高齢者と子供の交通事故防止
- ◆自転車と二輪車の安全利用の推進
- ◆飲酒運転の根絶
- ◆横断歩道の安全な通行



飲酒運転の根絶

地域・職場・家族、みんなで協力し、
 お酒を飲んだら「運転しない・させない」
 を徹底しましょう！

交通安全協会三島地区支部 交通安全指導員

